

那覇市公共下水道長寿命化計画

はじめに

那覇市の下水道事業は、昭和41年に琉球政府の事業認可を受け、昭和47年に雨水事業を追加し、沖縄県中部流域下水道那覇処理区の流域関連公共下水道事業として整備を進めており、汚水の面整備率は約89%となっております。

最初に布設した管渠については、管渠の標準耐用年数（50年）をまもなく迎えようとしており、管渠は、布設後30年を経過すると道路陥没箇所数が急増する傾向があります。

今後老朽化した管渠施設が加速度的に増加することから、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や汚水機能停止を未然に防止するため、限られた財源の中でライフサイクルコストの最小化の観点も踏まえ、耐震化等の機能向上も考慮した計画的な改築を推進するために下水道長寿命化計画を策定したところであります。

※下水道長寿命化計画：下水道施設の点検・調査結果に基づき「長寿命化対策」を含めた施設の改築等に関し、対策内容や対策時期等を定めたものである。なお「長寿命化対策」とは、下水道施設の予防保全的な管理及び更生工法あるいは、部分取替等により既存ストックを活用し、耐用年数の延伸に寄与する行為をいう。

事業概要

計画期間：平成24年度～平成28年度（5ヶ年）

総事業量：管渠の改築延長 L＝約15km

総事業費：約14億

事業箇所

汚水中継ポンプ場がある小禄処理分区及び布設年度が古く経年劣化により腐食、破損等が発生している地区において長寿命化計画を実施しております。

（別紙参照）

長寿命化対策（事例）

長寿命化対策前

カメラ調査より管渠の劣化状況を確認



○管渠内が腐食している状況が確認できます。このまま、腐食が進行すると道路陥没及び汚水機能の停止が発生します。

※カメラ調査により管渠内の劣化状況を確認し、対策の可否を判定します。

長寿命化対策後



○既存施設（管渠内空間）を活用し新しい管を構築します。（管更生工法）

さいごに

今後とも予防保全的な維持管理を実施するとともに計画的な改築を推進することとしております。

問い合わせ先：那覇市上下水道局下水道課 計画係 098-941-7808

